

第 32 回 豊 島 区 景 観 審 議 会 デ ザ イ ン 検 討 部 会

景 観 事 前 協 議 ③

一般地域の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）

<複合市街地>

<当該行為における景観に関する考え方> 記載欄

本計画は既存本館の前面空地を活用して、食堂、スタジオといった福利厚生機能と教職員のための研究室を集約する新棟の新築計画である。「公園のような都市型キャンパス」として地域住民に開放され、学生や教職員の快適性や知的生産性向上に貢献する緑あふれる学習環境として整備している。本館のクラシカルな佇いとは対照的な開放的で明るい新館は、学生・教職員・地域住民の活動が街へと表出し、賑わいのある景観を形作る計画とする。

| | |
|--|---|
| 配置 | ○道路などの公共空間と連続したオープンスペースの確保など、公共空間との関係に配慮する。 |
| | 記載欄 春日通りに面する魅力ある本館前面広場をステップ状に拡張し、開かれた活動の場を計画している。 |
| | ○幹線道路沿いや商店街では、歩行者に圧迫感や威圧感を与えないように努めるとともに、隣接する建築群との関係に配慮し、通りとしての連続性を損なわないよう計画する。 |
| | 記載欄 春日通りに沿って壁面のセットバックされた庇状の軒下空間とすることで、圧迫感のないヒューマンスケールな歩行者空間を計画している。 |
| | ○壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、周囲の街並みに配慮する。 |
| | 記載欄 東側道路に沿って、歩道上空地を設け、対面の建物との適切な離隔を確保した計画としている。 |
| | ○敷地内に残すべき景観資源（遺構、樹木、池、湧水等）がある場合は、これを生かした計画とする。 |
| 記載欄 本館前面広場にある既存樹木を活かしつつ、前面広場の利用(動線・憩い・食事等)に合わせ、ヒューマンスケールで居心地のよい前面広場を計画している。 | |
| 高さ・規模 | ○周辺からの見え方に配慮する。 |
| | 記載欄 春日通りに面する立面の幅や高さを周辺建物と同程度とすることで、建物スケールの調和に配慮した計画としている。 |
| | ○幹線道路沿道では、沿道建築物等によるスカイラインとの調和を図る。 |
| | 記載欄 周辺建物と同程度の高さとする事で、春日通沿いのスカイラインに配慮した計画としている。 |
| | ○建築物の分節化や高層部の後退などにより、圧迫感の軽減に配慮する。 |
| 記載欄 新館は低層部・高層部に分節し、高層部は前面道路から壁面後退をすることで、圧迫感の軽減に配慮した計画としている。 | |

| | |
|---|--|
| 形態・ 意匠・ 色彩 | <p>○建築物単体だけでなく、街路樹などのみどりや周辺の建築物、景観資源等（公園・緑地、並木、モニュメント等）との調和に配慮する。</p> |
| | <p>記載欄 春日通り沿いに並木と新館庇状の緑化により、春日通りの緑の連続性を創出した計画としている。</p> |
| | <p>○色彩は、「色彩基準」に適合するとともに、周囲の建物から突出せず、周辺との調和に配慮する。</p> |
| | <p>記載欄 春日通り沿いの落ち着いた色調に調和すべく、標準色の色調をベースとした色彩計画としている。</p> |
| | <p>○外壁は、周辺の景観との調和に配慮した素材を活用する。</p> |
| | <p>記載欄 新館は木調の軒天を春日通り、本館前面広場に向けて計画することで、周辺の緑と調和した活動の場・歩行者空間を計画している。</p> |
| | <p>○坂道や緑道等となっている河川沿いなど、地形の変化がある場所では、その変化を建築物等のデザインに生かすよう工夫する。</p> |
| | <p>記載欄 該当なし</p> |
| | <p>○附帯する建築設備等は、設置場所や目隠しなどの工夫により、周囲からの見え方に配慮する。</p> |
| | <p>記載欄 屋上の設備機器や、設備バルコニーに設置した機器が、通りから見えないように、目隠し壁やルーバーで覆う計画としている。</p> |
| <p>○都電沿いでは、開口部や建築設備等の位置、デザインなど、車窓からの見え方に配慮する。</p> | |
| <p>記載欄 該当なし</p> | |
| 公開 空地・ 外構・ 緑化等 | <p>○外構計画は、隣接する敷地や道路など周囲の街並みとの調和に配慮する。</p> |
| | <p>記載欄 歩道との段差をなくす計画とし、周囲の道路からのアクセスに配慮している。</p> |
| | <p>○幹線道路の街路樹など周辺のみどりとの連続性を考慮し、敷地や建築物を緑化する。</p> <p>記載欄 春日通り沿いに並木と新館庇状の緑化により、春日通りの緑の連続性を創出した計画としている。植栽は、高木・中木・低木を取り混ぜ、緑のネットワークをつくる計画としている。</p> |

| | |
|--|---|
| | ○緑化にあたり、樹種の選定や樹木の配置等は継続的な維持管理が可能な計画とする。 |
| | 記載欄 視界の妨げにならないように、枝の張り方に注意して樹種を選定した計画としている。 |
| | ○駐車場・駐輪場を設置する場合は、緑化の工夫により、道路や隣地からの見え方に配慮する。 |
| | 記載欄 新館の駐車場について、幹線道路から離れた東面にアクセスを設けることで、道路から見えにくいよう配慮した計画としている。 |
| | ○照明は、夜間の景観や周囲の環境に配慮する。 |
| | 記載欄 照明の光は、適度に明るすぎず、上空へ光が拡散しないように配慮する。 |

<上記以外で特に景観に配慮した事項> 記載欄

一般地域の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）

〈商業・業務系市街地〉

〈当該行為における景観に関する考え方〉 記載欄

本計画は既存本館の前面空地を活用して、食堂、スタジオといった福利厚生機能と教職員のための研究室を集約する新棟の新築計画である。「公園のような都市型キャンパス」として地域住民に開放され、学生や教職員の快適性や知的生産性向上に貢献する緑あふれる学習環境として整備している。本館のクラシカルな佇まいとは対照的な開放的で明るい新館は、学生・教職員・地域住民の活動が街へと表出し、賑わいのある景観を形作る計画とする。

| | |
|--|--|
| 配置 | ○歩行者に圧迫感や威圧感を与えないように努める。 |
| | 記載欄 春日通りに沿って壁面のセットバックされた庇状の軒下空間とすることで、圧迫感のないヒューマンスケールな歩行者空間を計画している。 |
| | ○商店街では、住宅や駐車場など店舗以外の出入口の設置等について、隣接する建築群との関係に配慮し、にぎわいを損なわないよう計画する。 |
| | 記載欄 該当なし |
| | ○道路などの公共空間と連続したオープンスペースの確保など、公共空間との関係に配慮する。 |
| | 記載欄 春日通りに面する魅力ある本館前面広場をステップ状に拡張し、開かれた活動の場を計画している。 |
| | ○敷地内に残すべき景観資源（遺構、樹木、池、湧水等）がある場合には、これを生かした計画とする。 |
| 記載欄 本館前面広場にある既存樹木を活かしつつ、前面広場の利用(動線・憩い・食事等)に合わせ、ヒューマンスケールで居心地のよい前面広場を計画している。 | |
| 高さ・規模 | ○道路や公園、広場など周辺の見通しのきく場所からの見え方に配慮する。 |
| | 記載欄 春日通りに面する立面の幅や高さを周辺建物と同程度とすることで、建物スケールの調和に配慮した計画としている。 |
| | ○住居系の建築物と隣接する場合は、建築物の分節化や高層部の後退などにより、圧迫感の軽減に配慮する。 |
| 記載欄 新館は低層部・高層部に分節し、高層部は前面道路から壁面後退をすることで、圧迫感の軽減に配慮した計画としている。 | |
| 形態・意匠・色彩 | ○建築物単体だけでなく、周辺の建築物や景観資源等（公園・緑地、並木、モニュメント等）との調和に配慮する。 |
| | 記載欄 春日通り沿いに並木と新館庇状の緑化により、春日通りの緑の連続性を創出した計画としている。 |

| | | |
|-------------------------|--|--|
| | <p>○商店街では、店舗開口部の位置や形態など、隣接する建築群との関係に配慮し、にぎわいが連続するよう計画する。</p> <p>記載欄 該当なし</p> | |
| | <p>○色彩は、「色彩基準」に適合するとともに、周辺との調和に配慮する。</p> <p>記載欄 春日通り沿いの落ち着いた色調に調和すべく、標準色の色調をベースとした色彩計画としている。</p> | |
| | <p>○外壁は、周辺の景観との調和に配慮した素材を活用する。</p> <p>記載欄 新館は木調の軒天を春日通り、本館前面広場に向けて計画することで、周辺の緑と調和した活動の場・歩行者空間を計画している。</p> | |
| | <p>○附帯する建築設備等は、建築物と一体的な意匠計画とするなど、周囲からの見え方に配慮する。</p> <p>記載欄 屋上の設備機器や、設備バルコニーに設置した機器が、通りから見えないように、目隠し壁やルーバーで覆う計画としている。</p> | |
| 公開 空地・ 外構・ 緑化等 | <p>○外構計画は、隣接する敷地や道路など周囲の街並みとの調和に配慮する。</p> <p>記載欄 歩道との段差をなくす計画とし、周囲の道路からのアクセスに配慮している。</p> | |
| | <p>○周辺のみどりとの連続性を考慮し、敷地や建築物を緑化する。</p> <p>記載欄 春日通り沿いに並木と新館庇状の緑化により、春日通りの緑の連続性を創出した計画としている。植栽は、高木・中木・低木を取り混ぜ、緑のネットワークをつくる計画としている。</p> | |
| | <p>○緑化にあたり、樹種の選定や樹木の配置等は継続的な維持管理が可能な計画とする。</p> <p>記載欄 視界の妨げにならないように、枝の張り方に注意して樹種を選定した計画としている。</p> | |
| | <p>○照明は、夜間の景観や周囲の環境に配慮する。</p> <p>記載欄 照明の光は、適度に明るすぎず、上空へ光が拡散しないように配慮する。</p> | |
| | | |
| | | |

<上記以外で特に景観に配慮した事項> 記載欄